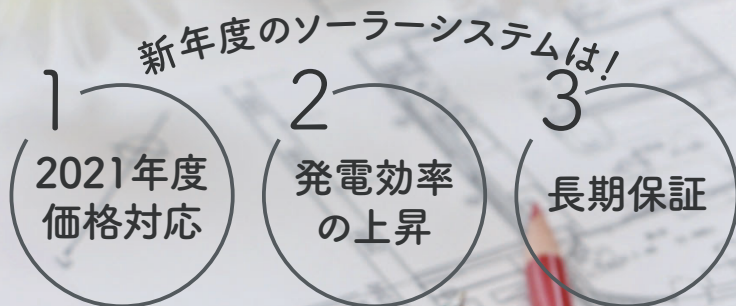


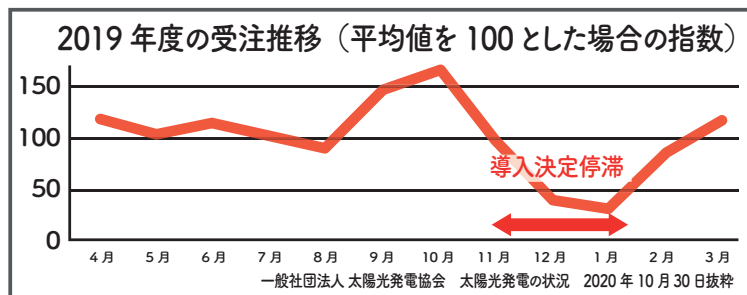
今の時期（11月～2月）だからこそ 競合他社と差別化するために 新築住宅には太陽光設備をご提案ください



Q. なぜ他社が提案できない、今の時期なのか？

A. 太陽光発電設備は、毎年11月～2月にかけて受注数は大きく減っています。受注数減少の原因の一つに、この時期は翌年度の売電価格が決まっていないうえ、沢山のハウスメーカーや建設会社は情報を持たず効果的な提案ができていません。

一方、太陽光発電設備は住宅建材で唯一“経済効果”を生み出す商材です。お客様の生活を豊かにする大切な設備、お客様満足度を高め、紹介受注にも繋がります。2021年度価格の対応製品を是非ご提案してください。



Q. 売電価格が下がっても、SIソーラーのシステムで大丈夫なのか？

2020年 21円 下落? 2021年 18円

A. 弊社では、来年度価格（10kW未満18円/kWh推定）と予測。価格下落後もお客様が経済メリットを得られるようにシステム価格を見直しました。これにより、来年度もお客様にご満足いただけるサービス設計が実現できました。

Q. 来年度価格の推定はどのような根拠からなのでしょう？

A. 売電単価（調達価格）は、毎年行われる調達価格等算定委員会にて議論を重ねて決定しています。そして、その委員会で価格を設定の基準にしているのが、太陽光設備のシステム価格水準です。先日行われた第62回調達価格等算定委員会の資料では、屋根設置価格水準として2020年22.0万円/kW、2021年20.0万円/kWとありますが、これは前年に比べて約9%のダウンです。本年度の売電価格が21円/kWhですので、9%ダウンと仮定すると19.11円。弊社では、さらにこの予想から1円の余裕をみて18円を公開用の予測単価として設定しています。

※売電予測単価は、一般的に公開されているデータをもとに独自で試算したものです。実際値とは異なる場合があります。その結果を保証するものではありません。目安としてご利用ください。



お問い合わせは



または

9:00～18:00（土日祝除く）

03-5642-3733